

令和5年度から 公立高校の入学選抜制度が変わります!

広島県では、「広島県の15歳の生徒にどのような力を付けさせたいか」という観点から、公立高等学校の入学選抜制度を改善します。これからの社会で活躍していく子供たちに、15歳の段階で、身に付けておいてほしい3つの「力」を習得できるよう、全ての学校で一人一人が、自分の考えをしっかりと持ち、大切に、先生や友達に心を開いて話すことができる雰囲気づくりや環境づくりを進めていきます。

広島県の15歳の生徒に身に付けておいてほしい力

自己を認識する力 自分は何か好きなのか、自分はどういう人間なのか、など自分自身のことを理解することができる力	自分の人生を選択する力 自分の将来の夢や目標、自分がやりたいことなどについて、自分で考え、選択し、自分の意志で決めることができる力	表現する力 自分自身のこと、自分の考えや思いを、相手に理解してもらえるように工夫しながら伝えることができる力
------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------

1 中学生がより一層主体的に志望校を選ぶことができる環境を整えます

全ての高等学校・学科で、教育目標や育てたい生徒像、入学受入方針、入学選抜の実施内容を各学校や広島県教育委員会のホームページで公表する予定です。

3 調査書を簡素化します

これまで記載されていた行動の記録や特別活動の記録、欠席日数などの項目をなくします。学習の記録については、3年時における到達度をより評価する観点から、学年間の比重を以下のように設定します。

学習の記録の学年間の比重
第1学年：第2学年：第3学年 = 1：1：3

2 選抜に係る期間を短縮します

「選抜(I)・(II)・(III)」を「一次選抜・二次選抜」とすることで選抜に係る期間を短縮し、授業や学校行事の時間を増やすなど、教育活動の充実を図ります。

- **一次選抜**(2月下旬または3月上旬)・・・学力検査、調査書、自己表現等により入学者を選抜します。
- **二次選抜**(3月中旬または下旬)・・・一次選抜の合格者が入学定員に満たなかった高等学校・学科で実施します。

※独自検査を追加する高等学校・学科もあります。
※一次選抜では、全ての学科・コースで実施する一般枠と、入学定員の50%以内で学科・コースの特色が出る内容で実施する特色枠の2通りの選抜方式があります。

新制度のポイント

4 受検生全員に「自己表現」を実施します

受検生は全員、受検会場で「自己表現カード」を作成し、「面談」方式による「自己表現」を行います。「自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる力」がどれくらい身に付いているのかをみます。お辞儀の仕方や話し方などのテクニックをみるものではありません。自分で選んだ言葉や方法で、自分自身のことをプレゼンテーションしてください。



入学選抜制度の詳細・最新情報を随時公表中!

新しい制度の詳細な内容や使用する各書類の様式などを県教育委員会ホームページで公表しています。生徒向けのリーフレットを作成していますので、併せてお読みください。

最新情報はこちらをチェック
広島県 入学選抜制度



お答えします! 質問に

Q いつから変わるの?

A 令和5年度の入学選抜(令和5年2~3月実施)からです。具体的には、令和3年度の中学2年生(平成19年4月2日~平成20年4月1日生まれ)から対象になります。

Q 「自己表現」って何をするの?

A 「自己表現カード」にこれまで取り組んできたことやアピールしたいことを書いた上で個人面談を行います。自己表現5分、質問・回答3分、入退室2分を目安として、10分程度の検査になります。受検生は、自分自身のこと(得意なことやこれまで取り組んできたことなど)や高等学校に入学した後の目標等について、自分で選んだ言葉や方法で表現してください。

一人1台コンピュータ!

広がってます!

もうすぐ県内の小学校・中学校・特別支援学校でも、一人1台コンピュータを使えるようになります。高校生のお兄さん・お姉さんから、小・中学生の皆さんにメッセージをもらいました!



県立広島国泰寺高等学校2年 小谷 柁 さん

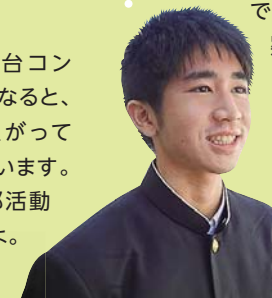
message 1

小学校から使えばスキルアップすること間違いなし!

小・中学生から一人1台コンピュータを使えるようになると、パソコンのスキルも上がって学習の幅が広がると思います。僕も勉強はもちろん、部活動でもかなり使っていますよ。

分からないことはすぐに調べられて便利!

授業などで分からないことがあったら、パソコンですぐ調べられるので便利です。皆さんにも疑問に思ったことをそのままにせず、自分の力で調べて理解できるようになってほしいです。



県立広島国泰寺高等学校2年 坂野 蒼太 さん

message 2



県立広島国泰寺高等学校2年 藤原 美和 さん

message 3

パソコンを駆使し、みんなで力を合わせて勉強しています!

パソコンでデータや意見を共有し、みんなで力を合わせて疑問や課題を解決しています。最初は使い方が難しかったり面倒くさいかもしれないけど、めげずに友達と話し合いながら使うと、楽しくて勉強が好きになるとと思います。

ラジオDJの大窪シゲキさんが高校生の授業を見学しました!

素敵な授業で、みんなキラキラしていますね!

僕が高校生の頃は、一人1台コンピュータなんて憧れでしかなかったけど、実際に使いこなしている高校生はみんなキラキラしてたね。先生も素敵な授業をされていて、僕らの頃と比べて授業の幅が広がってるなあと思いました。小学校や中学校でも一人1台使えるようになるなんてすごいなあ。みんなには、勉強はもちろん、自分の好きなことにパソコンをどんどん使って楽しんでほしいね。



おおくぼ 大窪 シゲキ さん

オリエンテーション動画を公開中!



特別支援学校の取組

県立広島中央特別支援学校

「全国盲学生点字競技大会」各部門で上位入賞!

県立広島中央特別支援学校(広島市東区)は、県内唯一の視覚障害者を対象とした特別支援学校です。点字で学習する児童生徒にとって、点字の技能を向上させることは、学習の定着や学力の向上を目指す上でとても大切であり、毎日練習に取り組んでいます。令和2年11月に開かれた、全国の視覚障害特別支援学校に在籍する児童生徒が点字を速く正確に書く技能を3種目で競い合う

点字器を使っていつも練習に取り組んでいます。

2分間で五十音を素早く書いたり、文章を速く書いたりします。

「第44回全国盲学生点字競技大会」には、小学部、中学部、高等部からそれぞれ2名ずつ参加しました。学部賞で小学部は全国第1位に、学校全体では全国第2位という輝かしい成績を収めました。今後も、視覚障害特別支援学校として「点字を学ぶことの意味」を常に意識しながら学習に取り組んでいきます。